

青少年のための科学の祭典-2014おもしろ科学まつり- 和歌山大会 開催要項

1. 大会名 青少年のための科学の祭典 -2014おもしろ科学まつり- 和歌山大会
2. 日時 平成26年12月13日(土) 12:30-16:00
14日(日) 9:30-16:00
3. 場所 和歌山大学(〒640-8510 和歌山市栄谷930)

4. 趣旨

高度成長時代、日本のものづくりの手本は欧米にあるとされてきました。その頃の日本のものづくりの現場では、欧米にある良いものをいかに安く作るか、より質を上げるにはいかにすればよいか、盛んに考えられていました。その結果、日本の科学技術は進歩して、次第に日本のものづくりが世界の手本と考えられるようになりました。

そして、近年日本のものづくりの形態は更に変化してきて、今までの発想とは異なり、安価で高品質であることとは別の新たな価値を付加する必要が出てきました。それを実現するための方法の1つは、社会に手本を求めることではないでしょうか。すなわち、今後の科学者には、単に新しいものを作り出すだけでなく、社会に潜在しているニーズや課題を発掘して、社会で解決可能な解を導き出し、科学技術を使って実現して、それを社会に定着させること、すなわち「社会に密着したものづくり」をめざすことが必要ではないでしょうか。

このようなプロセスを経ての「ものづくり」は、科学者が研究室にこもって自分たちだけで取り組んでは実現できません。科学者自身が社会の中に出向いていって一般ユーザの言葉(ニーズ)を引き出して、その言葉を専門の言葉に解釈して、それに応じて開発・製作して、できたものをユーザに使ってもらってレビューを受け、改善を繰り返すことで仕上げる必要があるでしょう。ここで重要なのは専門的な知識や技術だけではなく、色々なバックグラウンドを持つ人々の間で意思疎通するためのコミュニケーション力です。これが無ければこのようなプロセスは実現できないでしょう。どれだけ深刻な要求も、その深刻さが科学者に伝わらなければ課題は解決しないでしょうし、どんなに素晴らしい発明も、その素晴らしさがユーザに伝わらなければ受け入れてもらえません。もちろん、身の回りの小さなことにも気づく敏感さも不可欠です。

毎年この「おもしろ科学まつり」には、児童から大人まで幅広い方々に来場して頂いています。出展者も、小学校から大学までの各種学校の生徒・学生・教員や、その他科学に関心のある方々と様々です。普段の生活の中では目にしたり体験したりでき/ない科学の実験、観察、工作などを準備して、来場者にそれらを見学、体験してもらって、科学のおもしろさ、楽しさを感じてもらいたいと考えています。小さくても良いので、何かに気づいてその発見を持って帰ってもらいたいと思います。そして、一人でも多くの人に将来の科学者をめざしてもらいたいと思います。会場は今年も和歌山大学キャンパスです。大学ならではの出展も計画しています。この大会が、科学の真のおもしろさ、楽しさを理解し、探求心を持つ創造力にあふれた若者を育てることの一助になり、あわせて、異なるバックグラウンドを持つ人同士の交流の場にもなればと期待しています。

5. 主催等

◎主催

「青少年のための科学の祭典・和歌山大会」実行委員会、一般財団法人雑賀技術研究所、日本物理教育学会近畿支部、公益財団法人日本科学技術振興財団・科学技術館

◎共催

和歌山大学、和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会、和歌山県科学教育研究会、和歌山市小学校理科教育研究会、和歌山市中学校理科教育研究会、和歌山県高等学校理科学研究会

◎協賛

浅井建設株式会社、株式会社アーツテックラボ、イオンモール和歌山、NTTファシリティーズ、株式会社オークワ、オムロン関西制御機器株式会社、柏木鉄工株式会社、クインライト電子精工株式会社、ケイ・エー商会、啓林館、下代組機工、コニカミノルタプラネタリウム株式会社、株式会社島精機製作所、

株式会社スカイグローブ，スペースインターネット株式会社，太洋工業株式会社，竹内化学株式会社，テレスコープセンターアイベル，西本工機株式会社，阪和電子工業株式会社，株式会社BEE，4Dセンサー株式会社，有限会社みしま教材，山本化学工業株式会社，ワイズ情報技術サービス，有限会社和歌山教具，公益社団法人和歌山県水質保全センター，公益財団法人わかやま産業振興財団，一般社団法人和歌山県浄化そう協会，一般社団法人和歌山県清掃連合会，和歌山大学消費生活協同組合

◎後援

文部科学省，経済産業省，和歌山工業高等専門学校，近畿大学生物理工学部，和歌山商工会議所，一般社団法人和歌山県発明協会，株式会社テレビ和歌山，株式会社和歌山放送，朝日新聞和歌山総局，毎日新聞和歌山支局，読売新聞和歌山支局，産経新聞社，ニュース和歌山株式会社，株式会社和歌山リビング新聞社，わかやま新報，日本宇宙少年団 和歌山分団，全国科学館連携協議会，全国科学博物館協議会，**NHK**，日本物理教育学会，日本生物教育学会，日本地学教育学会，日本基礎化学教育学会，一般社団法人日本科学教育学会，日本理科教育学会，(一社)日本地質学会，一般社団法人日本生物物理学会，一般社団法人日本物理学会，(公社)応用物理学会，公益社団法人日本化学会，(一社)日本機械学会，(公社)日本アイソトープ協会，(公社)日本理科教育振興協会，(一財)日本私学教育研究所，(公社)日本植物学会，公益社団法人日本動物学会，(公社)日本天文学会，(公社)日本工学会，(一社)電気学会，日本エネルギー環境教育学会，わかやま自主研究フェスティバル実行委員会

6. 出展内容および規模

- ・自然科学に関する，実験，観察，工作，科学教室，講演会 等， 出展数：49件

7. 出展協力者

- ・小学校，中学校，高等学校，大学・高専の教員および学生，企業，市民の有志

8. 対象

- ・小学生，中学生，高校生，大学生，教員，一般 (入場無料)
- ・入場者数予想 3,000名

9. 実行委員会委員名簿

実行委員長	津田尚明	(和歌山工業高等専門学校)
実行委員	中井章博	(和歌山県教育庁学校教育局学校指導課)
	土井浩	(和歌山市立こども科学館)
	久保文人	(和歌山大学教育学部附属小学校)
	木村一紀	(和歌山市立城東中学校)
	矢野充博	(和歌山大学教育学部附属中学校)
	西澤 徹	(和歌山県立和歌山北高等学校西校舎)
	中尾允紀	(和歌山県立粉河高等学校)
	栗柳哲也	(和歌山市立宮小学校)
	蓬臺孝紀	(一般社団法人和歌山県発明協会)
	竹原秀也	(株式会社和歌山リビング新聞社)
	仁藤伸昌	(近畿大学生物理工学部)
	神田和香子，顧 萍，古賀庸憲，此松昌彦	(和歌山大学教育学部)
	村川猛彦，金子泰純，西村竜一	(和歌山大学システム工学部)
	尾久土正己	(和歌山大学協働教育センター／観光学部)
	藤垣元治 (事務局長)	(和歌山大学協働教育センター／システム工学部)
事務局スタッフ	森 文カ	
会計監査	赤阪健司，藤田利光	

問い合わせ先：

青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会事務局 (担当：森，藤垣)

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学協働教育センター内

TEL 073-457-8504・FAX 073-457-8502 E-mail omoshiro2014@kagaku-wakayama.com

<http://kagaku-wakayama.com/>